

令和2年度地域女性活躍推進交付金事業の実績について

1. ウーマノミクスで経済活性化塾開催事業

2. ビジネスウーマン交流会開催事業

3. やまがたイクボス同盟活動関係事業

4. 中小企業等におけるワーク・ライフ・バランスの取組み支援事業

5. 地域女性活躍応援事業

- (1) 最上地域: 社会参加に向けた講座の開催
- (2) 置賜地域: 女性活躍を推進する企業によるセミナーの開催
- (3) 庄内地域: 多様な働き方をしている女性等の情報発信

1. ウーマノミクスで経済活性化塾開催事業

事業概要

企業において女性活躍・新しい働き方を推進するために、必要となる知識・スキルを習得しながら具体的な施策を立案し、公開でプレゼンテーションを行う4回の連続講座(オンライン開催)

開催実績

■対象:企業・団体の管理職、人事・労務担当者等

(第1回)「今だから進める!新しい働き方」(R2.7.28(火))

講演、先進企業(1社)の事例紹介及び受講者によるワークショップ

(第2回)「新しい働き方を考える上で、必要な知識、制度を知り、解決策を模索」(R2.8.26(水))

講演、受講者によるワークショップ

(第3回)「自身の役割を学び、社内を巻き込み変革を進めるためのスキル習得」(R2.9.16(水))

講演、受講者によるワークショップ

(第4回)「ウーマノミクスで山形の働き方改革を加速し、経済活性化!」(R2.10.14(水))

講演及び、受講者による最終プレゼンテーション

事業目標

(目標)参加者数:延べ200人 ⇒ (事業実績)延べ168人

アンケート結果・参加者からの声

・受講者アンケートでは、94.2%が有意義と回答

[参加者の声]・漠然としていた“女性活躍”が身近になった。全部受けて深みが増す構成だった。

・他社の取組みを聞き、悩みを共有でき、今後自分に取り組むべきヒントになった。



2. ビジネスウーマン交流会開催事業

事業概要

県内で働く女性が交流し、悩みや課題を共有することで、モチベーションアップや意識改革につなげるとともに、ネットワークの形成により、企業活動や経済の活性化を図り、「やまがたウーマノミクス」の更なる展開を目指すもの(オンライン開催)。

開催実績

R2.9.8(火) オンライン開催

■対象: 県内企業等やフリーランスで働く女性

・第1部【講演】

《講師》富松 希氏(山形市売上増進支援センター Y-bizセンター長)

《テーマ》「自分を活かす働き方のコツ」

・第2部【グループワーク】

ファシリテーターを設置し、5つのテーマで実施

- ① ストレスとうまく付き合う
- ② キャリアデザイン
- ③ 「自分の取扱説明書」でコミュニケーションを良好に
- ④ 働きやすい職場を作ろう
- ⑤ アンガーマネジメント

・第3部【オンライン交流会】



事業目標

(目標) 参加者数: 80人 ⇒ (事業実績) 66人

アンケート結果・参加者からの声

- ・第1部～第3部いずれも、「大変有意義」「有意義」と回答した参加者の割合が8割を超えた。
- ・「今後のキャリアに役立てたい」「多くの女性と一緒に頑張っていると思った」などの声が多数。

3. やまがたイクボス同盟活動関係事業

事業概要

トップセミナーの開催などで経営者層にイクボスを普及・浸透することで、①長時間労働の是正、②働き方の多様化、③男女共同参画などを推進することにより、女性も男性も働きやすい職場を増やしていく。

開催実績

R2.11.30(月)開催

■対象:経営者、管理職、組織のリーダー等

○基調講演

《講師》 出口 治明 氏(立命館アジア太平洋大学学長)

《演題》「ダイバーシティ経営を実現するリーダーのありかたとは」

○トップメッセージ

・山形県知事、山形県経営者協会会長、出口治明氏



事業目標・KPI

(目標) 参加者数:100人⇒(事業実績) 179人

(KPI) 参加者アンケートによる満足度:70%以上⇒(実績) 94.2%が「満足」「やや満足」と回答

アンケート結果・参加者からの声

- 今までにない視点からのジェンダーに関する講演で、日本だからこそある根深い問題に気がつくことができた。
- 歴史や科学など裏付けのある講演で、納得感の多い内容だった。男女等しく働き家庭を守るためには、(働き方の見直し等)まずリーダーが動かななくては何も始まらないという意識になった。

4. 中小企業等におけるワーク・ライフ・バランスの取組み支援事業

事業概要

社会保険労務士をWLB推進アドバイザーとして企業へ派遣し、各種情報提供や技術的助言を行うことで、企業のWLBに関する各種支援施策の活用を支援する。

また、一般事業主行動計画(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法)の策定が努力義務となっている従業員数100人以下の企業を主な対象に、行動計画の策定を積極的に支援するもの。

派遣実績

第2四半期(8, 9月) : 3件 第3四半期(10~12月) : 17件 第4四半期(1~3月) ≫ : 15件

事業目標

(目標) アドバイザー派遣企業数: 延べ85件 ⇒ (事業実績) 延べ35件

派遣先企業の声

- ・出産予定の従業員がおり、両立支援について積極的に取り組んでいきたいと思っていたので、行動計画が策定できて良かった。(絹織物業)
- ・新卒で女性を3名採用した。人材が定着しないのが悩みであり、長く働いて定着してもらえるよう、行動計画の策定に取り組みたい。(サービス業)
- ・育児と両立しながら働く女性職員が多く、より働きやすい職場環境を目指したい。くるみん等の認定を視野に入れて行動計画を策定したい。(保育所)



5. 地域女性活躍応援事業(最上地域)

事業概要

女性が、仕事や地域活動などの家庭外での活動に対して、継続的に参加していけるよう、モチベーションアップや維持に関する講座を開催する。

開催実績

R2.11.30(月)開催

■対象:どなたでも

○講座

《講師》 塩野 貴美 氏

(コーチング・メンタルヘルス研修PresentTime代表)

《演題》「夫のやる気を引き出す魔法の言葉」

○おしゃべりタイム

参加者同士の意見交換、気づきの共有

夫のやる気を引き出す
魔法の言葉

日時 令和2年9月13日(日) 13:30~15:30

場所 最上広域交流センターゆめりあ 2階会議室
(新庄市多門町1-2)

参加対象 どなたでも

定員 20名程度

参加料 無料

主催 最上総合支庁

託児あります

講師 塩野 貴美 氏

(講師プロフィール)
コーチング・メンタルヘルス
研修PresentTime 代表
コーチング(質問によって、
その人のやる気や能力を引き出
すことができる方法)をベース
に、心機よくいきまきコミュニケ
ーションのヒントを秘伝している。
山形県出身、1児の母。

事業目標・KPI

(目標)参加者数:20人 ⇒ (事業実績) 24人

アンケート結果・参加者からの声

- ・楽しみながら、いろいろな気づきをいただきました。
- ・今日から実践できることがたくさんありました。家に帰ったらぜひやってみたいです。
- ・夫に限らず、まわりの人々に今後活かして接したいと思います。
- ・あらためて相手に対して感謝や労いの言葉が大切だと感じました。また、女性同士の共感によって自身の悪いところや直さなきゃいけないところを素直に受けとめることもできました。

5. 地域女性活躍応援事業(置賜地域)

事業概要

女性活躍推進に関する先進的な取り組みを実践している企業経営者等を講師とするセミナーを開催。人材確保が難しい時代の中、女性に選ばれる魅力のある企業に向けた意識啓発に取り組む。

開催実績

R2.11.16(月)開催

置賜地域 男性も女性も活躍できる「いきいき企業」セミナー

■対象:管内企業経営者、人事担当者、行政担当者等

●講演1 「社員と共に歩む感動経営」

弘栄設備工業株式会社 代表取締役社長 船橋 吾一 氏

●講演2 「テレワーク導入によるワーク・ライフ・バランスの推進」

地域価値研究所 所長 五十嵐 幸枝 氏



事業目標

(目標①) 参加者数:30人 ⇒ (事業実績) 23人

(目標②) 参加者アンケートによる満足度:80%以上 ⇒ (事業実績) 90%

アンケート結果・参加者からの声

- ・社員から「こんな会社ならいいな」と思われることはどんなことか考えてみたいと思った。
- ・企業としての働きやすい職場づくりのお話を聞くことができ、貴重な機会をいただいた。
- ・弘栄設備工業の家族交流事業がとても参考になった。
- ・テレワークをすること自体が目標でなく、ヘルスケア等含めてそこから先に目を向けたいと思う。

5. 地域女性活躍応援事業(庄内地域)

事業概要

ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業や、多様な働き方をしている女性について、子育て世代が多く閲覧するサイトに掲載するとともに、リーフレット等を活用して周知する。

取材先

○ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業

・有限会社菅原運送

男性の育児休業の推進に取り組んでいる企業

・鶴岡信用金庫

年次有給休暇の取得促進のための制度作りをしている企業

○多様な働き方をしている女性

・農家の仕事＋冬季の仕事を兼業している女性を取材

事業の効果

・同じ庄内の企業の身近な事例であるため「ワガコト化」になり、具体的な取り組みであるため取り入れやすくアクションにつながる。

・子育て支援サイトによる発信のため、妊娠・出産で働き方を変えようと思っている女性に情報を発信できる。



企業でのワークライフバランスの実践や
女性の自己実現できる働き方の意識醸成につながる